内径レンチ　取扱説明書

■はじめに

この取扱説明書には、内径レンチの基本的な操作と安全な取扱方法が記載してあります。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■使用目的

主としてねじ込み式配管における鋼管や給水管（化粧ニップル）のネジのゆるめ作業を行う工具で、操作方法に記す方法で使用します。

■仕様

対象材

品名・サイズ	品番	使用できる管の種類	適用される管の呼び寸法（A表示）	内径レンチ六角部の対辺寸法
内径レンチ10A	IPW－10	配管用炭素鋼鋼管 給水管（装飾用クロムニップル等）	10A	13
内径レンチ15A	IPW－15		15A	17
内径レンチ20A	IPW－20		20A	21
内径レンチ25A	IPW－25		25 A	27

注１．内側被覆鋼管は、使用できません。
注２．ネジ部において腐食の著しい管においては、内径レンチがすべる場合があります。

■安全に対する注意事項

⚠ 警告

①作業時に対象材に対してレンチを斜めに取付けたり、負荷を確認せずに一気に力を加えますと、レンチが空転して大きな災害に結びつく事があります。レンチをセットする際には、必ず対象材に対してレンチが一直線になるようにセットしてください。又ゆっくりと負荷を確認しながら作業してください。
②足場の不安定なところでの作業は滑ったり落下するなど大変危険です。正しい姿勢で作業できる安定した足場を確保して、作業を行ってください。
③このレンチの取扱説明書に表示された仕様の範囲を超えてご使用になりますと、レンチが破損し思わぬ事故の原因となりますので、仕様の範囲を逸脱する使用は絶対にしないでください。

⚠ 注意

①このレンチを使用する際、スパナやラチェットレンチなどのハンドルにサヤ管を取り付けて過大な力を加えると工具が破損しますので絶対にしないでください。
②対象材として指定したもの以外の作業は工具の破損につながりますので、使用しないでください。
③工具の各部は常に点検を行い、損傷のある状態で使用しないでください。

■日常の点検・メンテナンス

１）本体や偏芯歯の歯部に錆やゴミなどの異物が付着していないか、歯の山が摩耗したり、欠損していないかを確認してください。異物が付着していれば、ワイヤーブラシ・ウエスなどで取り除いてください。
２）偏芯歯が本体の溝でスムーズに空回りするかを点検してください。もし空回りがスムーズでない場合は、本体と偏芯歯の接合部分に注油を行ってください。

■作業を行われる前に

１）保安帽・安全靴・保護用手袋などを着用し、正しい服装を心がけてください。
２）床面の油や障害物で滑ったり、つまづいたりしないように作業場所を整頓し安定した足場を確保してください。

■各部の名称

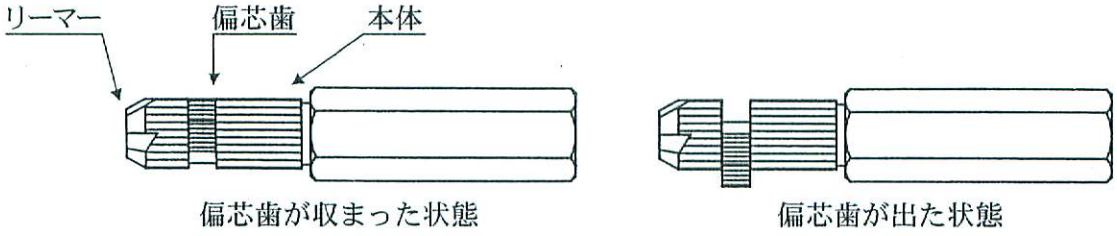

図1

■操作方法

1）管内部に錆やゴミが著しい場合は、内径レンチ先端のリーマーで錆やゴミを取り除く。
（リーマーの刃は内径レンチを左に回す時に働くよう付いています）
ゆるめようとする管に内径レンチをセットする。
・偏芯歯が収まった状態（図1）で管に入れてください。
・偏芯歯よりも必ず深く管に入れてください。（図2）
・管と内径レンチがこじた状態で入れないでください。（図3）
・錆が硬く内径レンチが入り難い場合は、管に損傷を与えないように内径レンチの六角部端面をプラスチック製ハンマーなどで軽く叩くと、入りやすくなります。

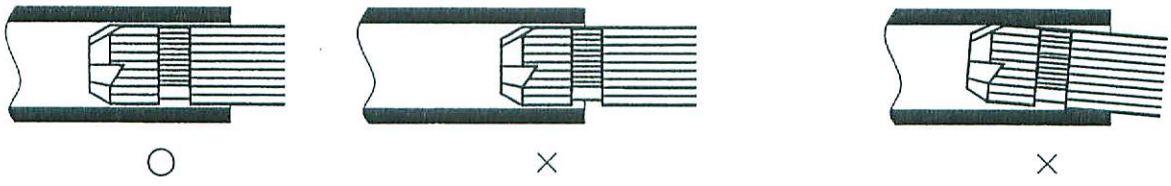

図2　　図3

2）内径レンチが管内面にかみ込むまで、左方向に手で回す。
内径レンチが管にかみ込んだ状態を確認して、スパナやラチェットレンチなどで六角部をくわえる。
ネジをゆるめる方向に内径レンチを回す。
・万が一レンチが滑った場合は、一度管から取り外し、本体と偏芯歯の歯部を掃除してから、再度入れ直してください。

3）抜き取られた管と内径レンチを取り外す。
・抜き取られた管は内径レンチがかたくかみ込んでいますので、管をパイプレンチ等でくわえ、内径レンチを先ほどと逆の右方向に回し、ゆるめてください。
・ゆるんだ状態よりさらに内径レンチを回しつづけると、再び管とかみ込みますので、ゆるんだ状態以上に内径レンチを回さないでください。
・無理に叩いたり衝撃などで管を内径レンチから外さないでください。工具の破損を引き起こします。

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
☎ (059) 234－2454
http://www.mcccorp.co.jp